

## 在セネガル日本国大使館月報

2022年9月

### 主な出来事

#### セネガル

##### (内政)

- 28日、アマドゥ・バ首相を首班とする新内閣の組閣後、初の閣議が開催され、物価高騰問題、公民権を失った者への大赦、投資公社総裁の人事等の課題が議論された。(28日 Le Soleil)

##### (外政)

- 20日、サル大統領は、国連総会の一般討論演説で、ウクライナ情勢、AUのG20参加、国連改革、格付け機関、SDR再配分、DSSI、気候変動問題等の問題について、セネガルの立場を訴えた。(20日 国連HP)
- ウクライナのクレーバ外相は10月3日～4日、ダカールを訪問する。ロシアによる侵攻について提起するものとみられる。(28日 LeQuotidien)

##### (日本関係)

- サル大統領は、セネガル石油公社(PETROSEN)が、三菱商事との間で肥料用の尿素生産について協議している旨述べた。(1日 Twitter)

#### ガーボベルデ

- 15日、カーボデルデ政府は、公共の場や交通機関でのマスク着用義務を解除し、同国への入国及び国内の島間移動についても陰性証明書等の提示義務を解除した。(15日 カーボベルデ政府HP)
- 21日、ネーヴェシュ大統領は、国連総会の一般討論演説で、開発途上小島嶼国に対する支援、脆弱性指数についての検討、アフリカの自然文化遺産保護の重要性について訴えた。(21日 国連HP)

#### ガンビア

- 19日、バロウ大統領は国民向けに演説し、アフリカ大陸自由貿易協定(AfCFTA)のための10か年計画等の地域経済統合の方針を発表した。(19日 ThePoint)
- 22日、バロウ大統領は、国連総会の一般討論演説で、同国の民主政への移行のほか、経済問題(観光業の不振、インフレ、エネルギー、気候変動)の他、西サハラ、キューバ、ミャンマー、台湾、ウクライナ等の各外交課題の重要性を強調した。(22日 国連HP)
- 27日、安倍元総理の国葬儀に際し訪日したタンガラ外務大臣は、山田外務副大臣と会談し両国関係や国際情勢について意見交換した。(27日 外務省HP)

#### ギニアビサウ

- 22日、エンバロ大統領は、国連総会の一般討論演説で、ウクライナ情勢、マラリア、キューバ制裁解除の他、ECOWAS議長として、地域の安全保障の重要性等を強調し、国際社会の支援を求めた。(22日 国連HP)
- 22日、エンバロ大統領は、NYでECOWAS臨時首脳会議を主催し、ギニアビサウへの制裁、マリで拘束されているコートジボワール兵士の解放について議論した。(24日 LeSoleil)

- ・文中の「コロナ」とは特別な記載がない限り、「新型コロナウイルス」のことを指すこととする。
- ・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

## **セネガル**

### (内政)

#### 内政一般

- 1日、石油・天然ガス開発に関する第二回目のフォーラムが開催され、「天然ガスの未来・戦略的投資と規制による成長」をテーマに議論が行われ、サル大統領が出席し講演した。(2日 LeSoleil)
- 2日、サル大統領は、高度な政治的な問題についての司法判断を行う憲法評議会議長に、カマラ元最高裁長官を任命した。(3、4日 LeSoleil)
- 業務上過失で逮捕された医療関係者三名の釈放を求め、医療関係者労働組合は、5日から48時間のストライキを呼び掛けた。(4日 RFI)
- 6日、国家消費者委員会が開催され、食用油、小麦、コメ等の食料品、セメント、鉄骨等工業品の価格の安定化策について商業省に施策を求める勧告を行った。(7日 L'Observateur)
- 8日、タル外務大臣は、第8回アフリカの平和と安全に関するダカール国際フォーラムのキックオフ会合を開催し、その成功に向けた協力を呼び掛けた。(9日 LeSoleil)
- 12日、セネガル国民議会は、治安部隊が警護にあたる混乱の末、与党連合BBYの議員で、ジョップ・リシヤートル市長を議長に選出した。(12日 RFI)
- 列国議会同盟(IPU)は、選挙後のセネガルの国民議会で44%の議席を女性議員が占め、アフリカで4位、世界でも18位となったことを発表した。(12日 Africanews)
- 12日の国民議会でのジョップ議長の選出の際欠席したトゥーレ元首相(女性、与党連合名簿筆頭)は、議長選出が大統領との縁戚関係によるもの(ママ)で「不公平」であると批判した。(12日 RFI)
- 16日、サル大統領は、国民向けに演説し、12日の国会での混乱を念頭に平静を呼びかけ、17日に首相指名等の組閣を行うとの意向を表明した。(16日 RTS)
- 17日、サル大統領はアマドゥ・バ前外務大臣を新首相に任命し、タル外務大臣が留任する等の組閣が行われた。(17日 RTS)
- 17日発足したセネガルのアマドゥ・バ首相を首班とする新内閣は、経済・社会問題に加え、2024年のサル大統領の三選出馬問題にも取り組むことになる。(19日 RFI)
- 21日、ジャス・ダカール市長(野党)の襲撃時の傷害致死罪及び銃刀法違反容疑に関する控訴審が行われ、裁判所は第一審の同市長への有罪判決を支持した。(21日 RFI)
- 26日、サル大統領は、首相、経済関係閣僚、経営者団体、消費者団体等の代表者等からなる会合を主催し、物価の高騰問題対策について協議した。(26日 RTS)
- 28日、アマドゥ・バ首相を首班とする新内閣の組閣後、初の閣議が開催され、物価高騰問題、公民権を失った者への大赦、投資公社総裁の人事等の課題が議論された。(28日 LeSoleil)

### (外政)

#### 二国間関連

- サル大統領は、2日から6日までサウジアラビア(巡礼目的)及び蘭(アフリカ気候変動適応サミット出

席)を外遊した。(3、4日 LeSoleil他)

- 7日、サル大統領は、ケニアのルト副大統領の大統領選出が憲法裁判所により確認されたことを祝した。(6日 Twitter)
- 8日、サル大統領は、セネガル訪問中のドゥダ・ポーランド大統領と会談し、共同記者会見で、エネルギー分野等での協力強化を表明した。(9日 LeSoleil)
- 9日、サル大統領は、エリザベス女王の逝去に際し英国大使館を訪問して記帳し、弔意を表した。(10日 LeSoleil)
- 9日、サル大統領は、中国習近平国家主席との間で、AU創設20周年と中国・AU外交関係樹立20周年を祝う祝電を交換した。(9日 中国外交部HP)
- 14日、米国のケリー気候変動問題大統領特使(元国務長官)は、アフリカ環境問題閣僚会議に合わせセネガルを訪問し、サル大統領を表敬し、COP27日に向けた協力について意見交換した。(14日 RTS)
- 18日、サル大統領は、19日行われる英国の故エリザベス女王の国葬に参列するため、ロンドンに到着した。(20日 RTS)
- ウクライナのクレーバ外相は10月3日～4日、ダカールを訪問する。ロシアによる侵攻について提起するものとみられる。(28日 LeQuotidien)

#### **国際情勢・国連機関支援等**

- 4日、サル大統領はアフリカ気候変動適応サミット(ロッテルダム)に出席し、アフリカがこの分野で既に貢献している旨説明し、各国の資金援助を呼びかけた。(5日 RTS)
- 5日、サル大統領は、バシリ前国連中央アフリカ事務所長(元セネガル国務大臣)のリビア担当国連事務総長特別代表への任命を祝した。(5日 Twitter)
- 14日、西アフリカ諸国中央銀行(BCEAO)は、ダカールで開催した金融政策委員会で、政策金利を引き上げることを決定し、金利は現行の2.25%から2.50%となる。(26日 JETRO)
- 20日、サル大統領は、国連総会の一般討論演説で、ウクライナ情勢、AUのG20参加、国連改革、格付け機関、SDR再配分、DSSI、気候変動問題等の問題について、セネガルの立場を訴えた。(20日 国連HP)
- 20日、サル大統領は国連総会に際して行われた「グローバル食料安全保障サミット」に共催者として参加し、アフリカにとっての食糧安全保障の重要性を訴えた。(21日 RFI)
- 27日、クワザルズバツ気候変動問題担当大使を団長とする欧州代表団がセネガルを訪問し、COP27を前に気候変動問題分野の協力について関係省庁と協議した。(27日 RTS)

#### **日本関連**

- サル大統領は、セネガル石油公社(PETROSEN)が、三菱商事との間で肥料用の尿素生産について協議している旨述べた。(1日 Twitter)
- 5日、伊澤大使は、セネガル国立航空気象局(ANACIM)のゲイ局長とセネガルにおける将来的なドローンの活用について意見交換した。(7日 LeQuotidien)
- 14日、伊澤大使は、日本が支援するダカール港第三埠頭改修工事の現場を視察し、進捗状況等を確認した。(16日 LeSoleil)

#### **(経済)**

#### **経済一般**

- セネガル政府は、安価にガスを供給するため補助金を供与しているが、ウクライナ情勢によるガス価格高

騰の中で、同補助金は国家財政を圧迫している。(1日 RFI)

- セネガル中小企業支援庁は、世銀の支援で、2400万億ドルを用い、中小企業の商業活動のデジタル化を支援する。(8日 Africanews)
- 26日、サル大統領は、首相、経済関係閣僚、経営者団体、消費者団体等の代表者等からなる会合を主催し、物価の高騰問題対策について協議した。(26日 RTS)
- 28日、世銀はセネガルについての報告書を公表し、経済活動の改善により実質 GDP 成長率は21年には6.1%となる一方、22年にはインフレの影響で4.8%程度になると予想し、2019年以来の対外債務の急増についても指摘した。(28日 世銀HP)

#### (社会)

- アフリカ地域の航空管制安全機関(ASECNA)の労働組合は、9月23日午前8時から25日(日)午前7時59分までストライキを実施し、同地域の国際航空が混乱する見通し。(23日 LeQuotidien)
- アフリカ地域の航空管制安全機関(ASECNA)の労働組合のストライキは、9月24日に24日、中断された。コートジボワール首相等の介入が奏功した。(24日 RFI)
- 26日、2002年に2千名の死者を出した南部ジガンショールとダカールを結ぶフェリー船「ジョーラ号」の沈没事故から20周忌を迎えた。(26日 RFI)

#### カーボベルデ

- 1日、カーボベルデのソアレシュ外務大臣は、モロッコ首都ラバトへの在モロッコ大使館の設置と「ダハラ領事館」(西サハラ)の設置により、モロッコとの関係を強化し、同国の権益を確保する旨説明した(1日 RFI)
- 9日、カーボベルデの議会最大野党(PAIGC)は、物価上昇を受け、政府に対し、農民への生活費の補助等の適切な対応をとるよう求めた。(9日 LUSA)
- 12日、ネーヴェシュ大統領は、20日から開催される国連総会一般討論演説に参加し、「国境を超えたカーボベルデ」をアピールする旨述べた。(12日 LUSA)
- ネーヴェシュ大統領は、15日に行われるアンゴラ大統領就任式に出席し、カーボベルデとの二国間関係を強化する旨述べた。(13日 LUSA)
- 15日、国連は、カーボベルデの2023~27年の協力計画により、災害に対して脆弱な貧困層を中心に1億1500万ユーロを供与する旨発表した。(15日 LUSA)
- 15日、カーボベルデ政府は、公共の場や交通機関でのマスク着用義務を解除し、同国への入国及び国内の島間移動についても陰性証明書等の提示義務を解除した。(15日 カーボベルデ政府HP)
- 16日、ネーヴェシュ大統領は、新たに制定した「外交の日」に演説し、カーボベルデのこれまでの外交が同国の「開発」に役立ってきた旨述べた。(16日 LUSA)
- 19日、グテーレス国連事務総長は、ネーヴェシュ大統領と会見し、新型コロナウイルスを克服したカーボベルデの努力を称賛しつつ、支援の継続を約束した。(19日 LUSA)
- 21日、ネーヴェシュ大統領は、国連総会の一般討論演説で、開発途上小島嶼国に対する支援、脆弱性指数についての検討、アフリカの自然文化遺産保護の重要性について訴えた。(21日 国連HP)
- WFPは、カーボベルデ政府との間において、150万ドルの支援のための合意文書に署名し、学校給食を通じた食糧援助を再開する予定。(24日 RFI)
- 29日、カーボベルデ当局によれば、2022年第二四半期は、対年同期比で18%の経済成長率とな

り、第一四半期の16.8%を上回った。(29日 LUSA)

## ガンビア

- 31日、WFPガンビア事務所の津村所長は、洪水被害者のうち特に脆弱層への緊急食糧援助を開始した旨説明した(31日 WFPプレスリリース)
- 2日、タンガラ外務大臣は、リュウ・ジン中国大使の信任状写しを受領し、会談で両国関係の強化に向けた協力を行うことに一致した。(5日 The Point)
- ガンビア保健当局は解熱鎮痛剤のパラセタノールが大腸菌に汚染されていたことが原因で過去三か月に多くの児童が急性腎不全で亡くなったとして、使用を禁止した。(8日 BBC)
- 今夏の記録的な豪雨で、ガンビアでは多くの避難民が出ており、政府の排水対策工事が遅延していたことにも批判の声が上がっている。(12日 RFI)
- 国連開発計画(UNDP)は2019-21年のガンビアについての報告書の中で、不安定な降雨のため、食糧安全保障の達成は道半ばであると評価した。(13日 ThePoint)
- 16日、ガンビア投資貿易公社は、韓国投資公社のミッションを二日間受け入れ、経済状況の現状確認等を行った。(16日 ThePoint)
- 18日、バロウ大統領は、国連総会に出席するためバンジュールを出発した。英国での故エリザベス女王の国葬には、バ文化大臣が参列する。(19日 TheStandard)
- 19日、バロウ大統領は国民向けに演説し、アフリカ大陸自由貿易協定(AfCFTA)のための10か年計画等の地域経済統合の方針を発表した。(19日 ThePoint)
- 中国政府は、第5回目となるガンビアへの医療使節団の派遣を実施した。同使節団は1年間にわたり活動する。(20日 TheStandard)
- 22日、バロウ大統領は、国連総会の一般討論演説で、同国の民主政への移行のほか、経済問題(観光業の不振、インフレ、エネルギー、気候変動)の他、西サハラ、キューバ、ミャンマー、台湾、ウクライナ等の各外交課題の重要性を強調した。(22日 国連HP)
- 27日、安倍元総理の国葬儀に際し訪日したタンガラ外務大臣は、山田外務副大臣と会談し両国関係や国際情勢について意見交換した。(27日 外務省HP)
- 29日、バロウ大統領は、民主政への移行やコートジボワール兵の解放等、マリ情勢の打開のため、マリ・バマコに出発した。(29日 Gnews)

## ギニアビサウ

- エンバロ大統領は、マラリア対策アフリカ・リーダー・アライアンス(ALMA)の議長に就任した。同団体は、2009年に設立され、2030年までのマラリア撲滅を目指している。(1日 RFI)
- ギニアビサウの4大政党の一つで、与党の一角のPRSは、12月の国民議会選挙に向け、ペレイラ元書記局長を首相候補に指名した。(1日 RFI)
- 6日、最大野党PAIGCのペレイラ党首は、2日に検察庁から差し止められていたリスボン行きを認められた。(6日 LUSA)
- 9日、ギニアビサウ漁業省は、価格をつり上げている仲介業者を介さず、住民に魚介類を販売する施策に

ついて決定したと発表した。(9日 LUSA)

- 12日、エンバロ大統領は、ルト新大統領の就任式のため、ケニアを訪問した。その後、アンゴラを訪問する予定。(12日 LUSA)
- ギニアビサウでは、19日から新学期が始まるが、教職員労働組合は、未払い賃金の支払いがないまま職場へ復帰することは難しいとしている。(14日 RFI)
- 15日、ギニアビサウ財務省は、IMFのミッションが同国を訪問し、賃金水準、教職員を含む公務員の人員数等を協力して分析する旨発表した(14日 LUSA)
- 15日、バルボザ外務大臣は、スンミン・ジャン韓国大統領特使と会見した。同特使は2030年の釜山での万博開催につき支持要請を行った。(15日 Facebook)
- 16日、コートジボワール航空は、アビジャンから、ビサウ及びヨハネスブルグを含む9都市への路線の開設を発表した。(16日 LUSA)
- 19日、エンバロ大統領は、国連総会出席のため、ニューヨークに到着した。ウクライナ情勢に伴う食糧安全保障、エネルギー、気候変動問題が課題となる。(19日 LUSA)
- 20日、ギニアビサウ選挙管理委員会のカヴィ委員長代行は、同委員会が委員の定足数を満たしていないとの野党側からの批判を否定した。(20日 LUSA)
- 22日、エンバロ大統領は、国連総会の一般討論演説で、ウクライナ情勢、マラリア、キューバ制裁解除の他、ECOWAS議長として、地域の安全保障の重要性等を強調し、国際社会の支援を求めた。(22日 国連HP)
- 22日、エンバロ大統領は、NYでECOWAS臨時首脳会議を主催し、ギニアビサウへの制裁、マリで拘束されているコートジボワール兵士の解放について議論した。(24日 LeSoleil)
- 24日、エンバロ大統領は、49回目となる独立記念日で演説し(録画)、未来に向けより野心的なビジョンを持つ必要がある旨述べた。(24日 RFI)
- ギニアビサウ保健省は、9月以来、産婦人科系の疾患の子宮瘻について30名について手術をする活動を行った。(27日 RFI)
- 27日、ギニアビサウは、中国から、国軍の能力向上のため、車両や掘削機、パワーショベル等の機材供与を受けた。(28日 DW)
- 28日、ギニアビサウ外務省は、アフリカ大陸自由貿易圏協定(AfCFTA)を締結した旨発表した。(28日 LUSA)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)